ニューノーマル時代のデジタル x モビリティとスマートシティ

AI/SUM & TRAN/SUM with CEATEC

2020年10月20日
Via Mobility Japan

Viaマネジメントチーム

Daniel Ramot（CEO）

イスラエル出身。
イスラエル空軍にてシステム開発に携わる。
その後、2012年に共同創業者の Orenと共に、アメリカニューヨークでViaを創業。

西島洋史（Via Japan CEO）

本田技研工業、
ボストンコンサルティンググループ、
Grabを経てViaに参画。
Grabでは、インドネシア事業責任者、東南アジア全体の安全・品質の統括責任者。

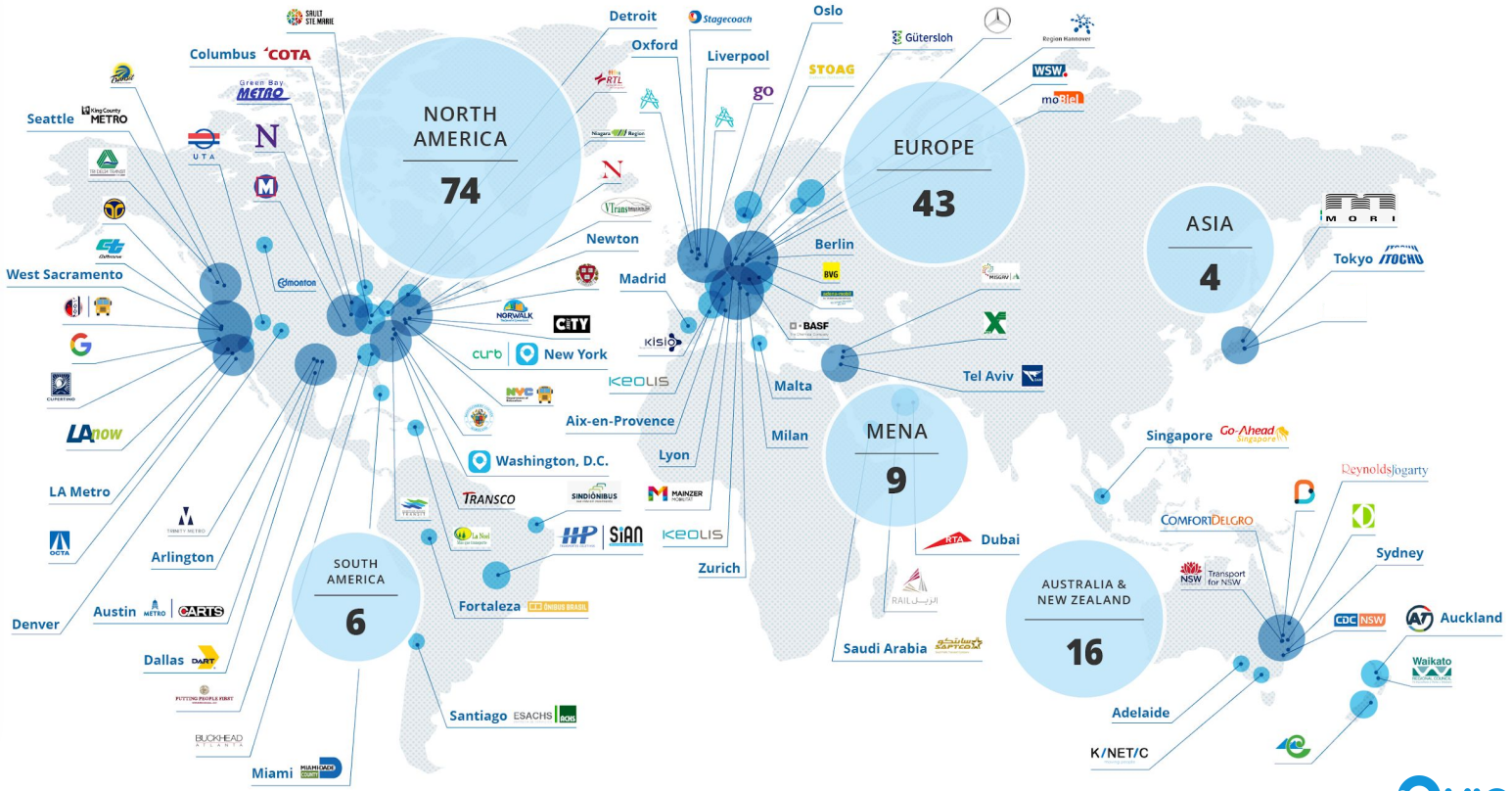
ViaはTransitTechのリーディングカンパニー

150以上
世界中での案件数

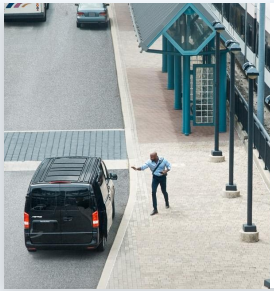
22カ国
展開中の国の数

2百万/月
トランザクション

350名
エンジニア数



幅広いTransitTechソリューションを提供



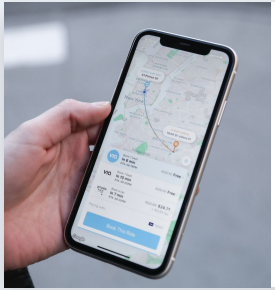
オンデマンド
公共交通

定時路線バス

福祉・
介護交通

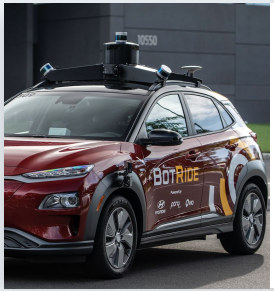
スクールバス

企業・大学向
けシャトル



Mobility-as-
a- Service
(MaaS)

交通計画コン
サルティング



先進モビリティ
(自動運転、
EV)

デリバリー

Via. Proprietary & Confidential.

コロナにより公共交通の変革が加速

従来から続く
スマートシティ化の流れ

＋

コロナによる移動需要減が、
交通効率化への変革を加速

長野県茅野市の例

- 今井市長のリーダーシップ下、スーパーシティ実現に取り組む
- オンデマンド交通はその柱の一つ
- 地域戦略課が実証実験を遂行

Thank you.

nishijima.hiroshi@viajapan.jp